昭和廿一年六月一日（第三種郵便物認可）
昭和二十一年八月六日　夕刊　いわき民報　（火曜日）　第九十號　（一）

いわき民報
發行所　いわき民報社
（電一八三番）平市田町一丁目一番地
人行發兼編輯
人印刷兼
千輝克巳
毎日刊（但月曜日を除く）
定價　一部　一円　五十二銭　一ケ月

農民所得標準に猛反對

機關紙發刊の諸計劃も決定

平市農組活潑に活動を開始

平市農民組合では去月末評議員會を又去る一日總會を開いた結果、今回の大增稅特に農民への所得稅課稅標準に對して不滿の意を表し、大藏省當局へ絶對反對陳情を行ふことを決議、且組合員の啓蒙と連絡の萬全を期するために機關紙の發刊をも申合せた。所得稅に對する反對理由は農民に對する課稅は近年稅務署員の見込み所得が增加して、從前の五倍乃至十倍となつてゐるが、これは結局納稅のための無理も生れて忌しい闇賣りや横流しもこゝに生ずることになる從つて青果物の統制强化や、主食類の供出にも大きな影響があるといふにある。この聲は郡下は勿論縣下各農組にも强く響くものと注目されてゐる

表面的には統合内定

縣災聯と引揚聯

各地區各支部の結成に縱横の活躍を見せて居る引揚者總聯合會の其後の動きは七日縣廳に於ける引揚總聯と縣災聯統合問題に關しては二十五日の縣災聯總會の完了を待つて當局と協議の運びになつて居たが、夫に先だち毎月第二日曜に開かれる副理事會に替へて四日夜市内隣保館に各地區委員長會議を開催

一、聯合會縣災聯統合問題、一、東北地方引揚者團体聯合協議參加報告、一、全經費負擔、一、福島縣海外引揚者聯合會規約改正

その他に關し協議を行つたが、縣災聯との統合問題に關しては縣の援護對照として引揚者、戰災者は行政官廳の立場からの個人團体としての面から考察して當然一本立てを必要とするも兩立不能の現下の狀勢に立脚して表面上の一本立てを進め末端機構は現在の組織を保持推進して行く方針に決定した

穀物の賃加工　組合支部成る

不正業者の取締徹底を要望

勅令第三百十一號の發令に伴ひ穀物賃加工の郡下三十一ケ町村組合支部結成は急遽繰められたが十五日の準備會後十七日平署樓上で縣商工課菊地事務官、統制組合本部松浦理事長等臨席の下に、業者二百名が參集、今後の組合の行き方其の他に就き熱議、組合員側から一般のみならず業者が此の食糧危機突破に直劍なる今日尚且各種公共機關の看板に欺瞞的加工を營んで居る部業者があるが今後かゝる事のない樣各關係官廳の徹底的取締を要望、同時に組合員も一層自粛自戒目的達成に盡力されたい、尚最近無許可の業者が多々ある樣であるが、之等は企業許可令穀物管理法に抵觸するから自發的に休業して欲しい、新規に營業したい者は夫々各關係官廳に連絡の上正式な許可を得られる樣、又未利用資源の粉碎普及を惡用して小麥を製粉したり家庭用共同作業と稱し賃加工をする者等が多くなつて來たが、何れも統制違反であるから當局でも嚴重な取締りを要望したい等々……組合今後の方針の開陳があり散會した、新規役員は三十日全部決定した、尚事務所は平市銀冶町水戸屋内に置くとある

支部長安初吉（平）、副支部長鷲文治（植田）相澤三雄（草野）幹事長、永島仁一郎（平）幹事長瀬綠（平）小野健之介（湯本）高木源次（好間）鈴木勝見（植田）會計馬目玉彌、三森猪之介、部長吉田辛三郎（平）他三十名

湯本町助役の任期問題解決

任期問題

地方事務所の誤認

湯本町鯨岡助役の任期問題は俄然問題視され、町會側も憂慮、去る二日午後一時から懇談會を役場に開いたが、渡邊町長の調査に依り同助役が七月末日で滿了としたのは矢吹前町長の照會に對して地方事務所側の誤認に基く回答の結果誤つたもので、同助役の任期は二十三日六月二十七日迄が正しいことが判明、そこには何等の裏面的策動もなかつたことが解り、さしも重大視された任期問題もあつさりけりとなつた

電話開設

電一二七九番

新設致しました

御知らせ申上ます

平市五丁目一

日本アンプル工業株式會社

食油配給

七日から三日間

但し一人は除外

待望の食用油は七日、八日、九日の三日間に配給されるが今回の食用油は聯合國の好意に依る特殊物資なので配給量も嚴重で七月分は一人の家庭も配給されたが今回は二人以上から配給される、尚學校、工場、寄宿舍等は市より直接割當する

二人一合、三人二合、四人三合、五人四合、六人五合、七人六合、八人七合、九人八合、一〇人九合、一一人以上一〇合の割

待望の衣料品配給

八日から六日間七商店で

第二、三次衣料品配給は八日から六日間市内三井、諸橋、山吉、なかや、大黑屋、紙屋、北川の七商店で販賣するが廣巾生地、服地類四五、四六〇ヤード、同補雀用布類二八、八五〇ヤード、小巾生地一、六〇〇ヤード、ラベット五四、〇〇〇ヤード、經糸一二四貫三〇〇匁、幌蚊一一五張で基準量は二人迄一、五ヤード、三人以上五人迄四ヤード六人以上一人當り一ヤード、糸は二人迄一匁、三人以上一人當り一匁增とある、補習用生地には多少の破損あるも我慢して欲しいとある

八、一九區）九日（一五、二三、二〇、二一、二二區）十日（二四、二五、二六、二八區）十一日（一七、一九、三〇、三一、三二、三三、三五、三六區）

ソースの配給日割

五日から十一日迄左記日割で配給されるソースの割當は二人迄一合、四人迄二合、六人迄三合九人迄四合、一〇人以上五合、一合一圓二十錢とある

五日（一、二、七、八、九區）六日（三、四、一〇、一三區）七日（五、六、一二、一六、一七區）八日（一二、一四、一

第一校同窓會

新發足

會長には永野氏

同窓會の新生發足を目指しての平第一校同窓會は四日午后六時半から市公會堂で開き六十余名出席、眞摯な意見交換あつた后問題の新役員も左の如く決定をみた、尚新同窓會は會計、庶務部、文化部、体育部の三部も設け、先づ文化部では近くレコードコンサート等を又体育部では各町内國民校兒童對抗野球大會等を催すことに決した

▼會長永野孝夫▲副會長高久孝百澤易正▼會計庶務部長百澤易正▼文化部長稻島正▼体育部長柏原武

木炭增收連絡協議

平署輸送課では五日午後一時から水戸村農業會に於て山間部の水戸、箕輪、三坂、澤渡、川前方面の木炭生産者を召集し、木炭增收の連絡打合せ會を開催した

米と麥詐取

湯本町天王崎杉本堅一（二一）は去月二十六日同町關船箱崎孝平方から配給米四升五合を精米所で白米にしてやるからと欺き又同樣手段で小麥も六升詐取し、米は一升五十圓、小麥は三十二圓の割で賣飛ばし遊興に費消したこと發覺、平署湯本派出所へ五日御用

旅費に窮して

石巻市新田豐原宗夫（二八）は炭礦で一働きしやうと同市勤勞署の斡旋狀と移動證明を持つて常磐炭礦へ來たが、近視眼の故を以つて採用されぬので、歸郷せんとしたが旅費だけで三十余圓かゝるのに僅か十六圓しか所持せぬので思案に余り四日湯本驛前に置いてあつた同町上町寺主健の自轉車を盜んだところを捕はれた、同情すべき点もあり、未遂のことなので嚴重說諭の上放還したが、炭礦側も折角募集した以上不採用者には歸國の旅費位與へてやるべきが至當であるとの非難を生んでゐる

少年の溺死

四倉町梁木作水道職工佐藤幸作男鐵郎（一八）は三日午後三時頃同町淨水道第三濾過池緣を通行中轉落溺死

淑女に……伸士に……
コノ香リ・コノツケ心地
高級純植物性
S.Pポマード
全國有名化粧店に有ります
本發賣元　東京　平市搖廻小路SP商會

いわき寸言

▼農民所得の引上げは結局闇と横流しの助長となるとある、この觀点から平市農組、政府に向け猛反對の運動を起す眞に御尤、闇と横流しを完封出來たら標準引下げも結局安い勘定となる譯とある▼穀物賃加工組合支部成る、その席上團体の違反的加工取締りを要望さる、これこそ大きな問題團体の名にかくれて未だに公然と不正の行はれるのは穀物加工のみではない嚴たる取締こそ市郡民等しく望むところ▼第一校同窓會新生の上新發足する祝すべし施迄形にとらはれず活潑に活動新生の意義を如實に示されんことを祈る

赤井嶽大祭
—◇來る八月三十一日執行◇—
石城郡赤井村
赤井嶽事務所

縫工員募集
男子服
婦人服　裁縫師及見習員
◇人員數十名（履歴書を平勤勞署へ持參のこと）
平市二丁目二六
大崎洋服店
電話九六番

平勤勞署
電話五六二番

福島縣指定事業重點工場
平硝子製作所
平木工製作所
社長　佐藤幸太郎
專務取締役　足助重雄
本社　平市新田町二六
電七一・四五五・七七二
東京事務所　東京都芝區新橋二ノ三八（烏森ビル）
電（57）四八三二番
工場電話　二九二・二七三
三八九・八三五・三五〇番

工員募集
瓦斯熔接工　數名
板金工　數名
鑛山用製鑵工事及火造
ボイラー製作及修理
パイプ配管工事
魚船用金物一式
瓦斯熔接並電氣熔接
セメント瓦型製作
古川鐵工所
所長　古川直治
平市銀冶町五
電呼五三三番

誓照院儀新盆に相當候へ共物資不足の折柄提灯其の他御供物等堅く御辭退申上候

昭和二十一年八月

平市南町六六

芹澤政資

存續說主張が大部分

即時廢止論も一割五分一厘

隣組存廢に就いての輿論

隣組も終戰後やゝ配給機構の一翼として存續されてゐる傾きに脱し、殆んど無名無實化して來てゐるので、今度市では常會の運營强化運動を展開することになつたがこれを機に岬會が産兒制限問題に引續いて、隣組は現在うまくいつてゐるかどうか？隣組制度は今後存續した方がよいかどうか？の二点について、市民の輿論調査を實施集計中のところこの程纏つた。右によると、先づ隣組が現在うまくいつてゐるかどうか？に對しての向答は

1、うまくいつてゐる　七二、一%(男七〇、九、女二九、一)
2、うまくいつてゐない　二四、六%(男七四、二、女二五、八)
3、不明　三、三%(男三三、四、女六六、六)

以上の通りのパーセンテージを示し、大体に於いてうまくいつてゐることが判る、又今後の存續問題に對しては

1、永久に繼續すべし　四%、八%(男六九、八、女三〇、二)
2、一時的なら繼續すべし　四〇、八%(男六七、二、女三二、八)
3、直に廢止すべし　一五、一%(男七九、〇、女二一、〇)
▲、不明　三、三%(男五五、五、女四四、五)

右の通りで、存續說が壓倒的に多いことゝなつてゐる、贊成論は相互扶助、隣保精神の發露によるものとみられるが、配給制度の廢止をみるときは相當大きな影響があるのではないかとみられてゐる、然し何れにせよ、目下のところでは隣組は存續されることに傾いてゐるのは注目すべきである

女學生は贊否半々

贊成論は食糧問題に重点を　反對論は國家資源說を翳す

産兒制限を聽

岬會では産兒制限問題の可否に就いて一般の輿論調査を實施したところ、食糧危機の突破上その他から制限の必要を認めるものが壓倒的に多いのに鑑み、若い學徒達は如何にみるか特別調査として平市立高女專攻科生について全樣の調査をしたところ、一般と逆に必要とするもの四八、六%に對して、必要なことするもの五一、四%で僅かながら反對論が多數を占めてゐるのはなかなかに興味が深い、双方の理由をみると必要とするものに於いては

食糧難解決迄七五、〇%、婦人解放上一五、〇%、優先學的見地上一〇、〇%

とあつて優先學的見地から主張するものが最下位とあるはチョツと寂しい、食糧難解決迄が壓倒的に多いのは何れもが十八才程度の食欲旺盛發育盛りのもの達であるだけにこの食糧危機が意外に深刻に響いてゐるのは見逃せぬ、一方必要なしとするものは

國家資源上七一、八%、宗教的觀点上二三、八%、道德頽廢上四四%

となつてゐて、國家資源上といふのが壓倒的なのは從來の教育の力ものをいつてゐるものとみられ、次いで宗教的觀点に立つものが多いのは純眞な乙女の願かともみられ微笑れる

衣類　最高價買入レマス　書籍、骨董、其ノ他　平市大町通リ　好雅堂　鈴木

開放

投書を歓迎す　要望批判結構　紙上匿名可

引揚者から

▼…貴紙七月二十四日附の引揚者擁護の餞に摘む美しの人情花　慨の涙を新にするものである、私が幾多の辛酸をなめて辛くも懐しの祖國博多に着いた時は丁度引揚者に相應しいショボ〳〵雨の降る日であつた

▼…さらばサンフランシスコよと甲板に出て見やる博多、そこには大きく引揚げの皆樣永い間ほんとうに御苦勞樣でした、もう御安心下さい、内地は皆樣の御歸りを待つて居りますと書き出されてある、これをみた一瞬　祖國健在なり、未だ活動の余地があると嬉しく意を强くした

▼…上陸後乞食の如き姿で松原　祭へ急ぐ途中七十二歳の老婆と病む子女を連れた余は、遂疲れに寄は未だかなあ！とつぶやくと偶々傍の家の中から一青年が立現はれ『寄はもう直ぐです、お疲れなら湯でも呑んでいらつしやい』といつてくれた、もう夜も九時を廻つた時間なのに、この一言で私の疲れも一度に消し飛んでしまつた

▼…引揚者にとつては内地の温い思ひやりとチョツとした親切がどんなにか强く響くかはこれでも判ると思ふ、萬一この逆に私は厚く感謝を捧げると共に今後益々正木夫人の如き方々も懐しの祖國に着いた時は　の出てくれられむことをこの際　特に御祈り申す次第である

（飯野渡邊男）

鬼家主から佛家主へ

借家人組合感激

平市新川町石井愛二さん外十二名の店子は、終戰後家主が家賃を一躍三倍乃至五倍に引上げたのみか、種々な名目で金品や米麥等を要求、氣に入らねば立退きを迫るのに堪えかねて、一同結束打ち揃つてこの程平借家人同盟に加盟、この家主は一軒の家を十數戸に區別して石井さん等に貸してゐるものなので、余りの暴狀に借家人組合でも驚き即時家主に交渉、折衝を重ねたところ流石の家主も折れ今日まで徵收した不法な家賃等は一切店子に返却、且つ立退要求を撤回した上に、今後長く居住して貰ひたいと申出たので組合を始め店子一同も大喜びで、目出度く今度手打ちをし圓滿解決した非を翻然悟るや一變して佛家主と變つたこの家主の態度には借家人組合でも感激してゐる

佛家出

白濱銀砂

『俺は一体誰の子なんだらう』父に遠慮してかあまりやつて來なかつた人達であつたが父の死後四十九日の忌日も過ぎない頃からほとんど連日の如くに酒を飲み、カルタをやりにやつて來た。父たちが結婚してから一年後に私の兄――生れて間もなく死んでしまつたが――が生れ、その後三年間の父の洋行の期間があつた、その間に生れたのが私であつた。ばあやの話だと父の洋行中には母には相當の醜聞があつて、洋行歸りの父に對して親族の者たちは母を離婚すべきだといつて迫つたが膽の大きかつた父はすべてを許して、私の母を以前の樣に妻として過してゐたとのことだ。

父は私を非常に愛してくれた　そして私も亦父になづいて行つた。私はすこしも父を『眞實の父だらうかと疑つてゐなかつた　それほど父は慈愛に滿ちた父だつた。そして又私は母をも信じてゐた。が併し父の死後幾日も過ぎぬに母の幼なじみだといふ男――父の洋行中にも出入りしてゐた男だとのばあやの話だ――の出入が氣がかりだつた　俺の父は一体誰なんだらう』と父の死と共に惱み二年を過ごしてしまつた。そして私には氣のせいか近頃母の腹が少し大きくなつて來たことに氣がついた。

昨日のことだ。母は私にすべてを打ち明けた――私は今家へ出入りしてゐるAといふ男の子だといふこと　又近いうちに私の弟が生れ出て來るといふこと――そして、私のために、そして又生れて來る弟のために母は再婚するつもりだといふことを椅子にあつた私の體は支へる力を失つて前へ倒れた。私はそうだらうとは思つてゐたものの母の口からはつきりとこう言はれてしまうと何がなにやらさつぱり解らなくなつてしまつた。倒れる私をびつくりして支へようとする母の腕を無理やりにふり拂つて無我夢中にて二階へかけ上つた。私は昨夜の更けるのを待つて家をとび出してしまつた。

父の寛大なりし心は狹小なる心の持ち主たる私をして一年の間惱みつゞけらせた。父は嫌惡の情が出て來た位だ。

母はAと結婚するといふ、だが私は不倫極まる我が家へ一日たりとも止まることをいさぎよしとしなかつた、その夜のうちにさすらひの旅へ出てしまつた。―二一、七、一二―

かも知れない父としてのなつかしさ親しさといふものは全然湧いて來なかつた。却つて憎しみ

キリ印クスリ
◎…大乙膏
◎…生盛素
◎…胃腸藥
◎…カゼ藥
◎…濕布藥
生盛藥劑株式會社
福島縣總代理店
湯本町郊外長倉
生盛堂

カメラと
寫眞材料部新設
カメラ高資ニ戴キマス
小名濱町役場
田中寫眞場

女縫工員募集
當會社事業擴張の爲今般平市三丁目に工場を新設、被服縫製事業を通じて經濟復興に貢獻することになりました縫工關係の經驗技能を有せらるゝ方はこを活用、國家の爲御協力下さい
希望の方は左記御含み御申出を願ひます
一、仕事　洋裁並に紳士服、婦人子供服の縫製
一、資格、募集數　女十七才以上數十名　履歴書持參のこと
一、申込場所　平市字搔槌小路一二SP商會　横山德男方
一、締切　昭和二十一年八月十日
平被服工業有限會社

各種バルブコック類
製造販賣應御注文
東京都芝區三田同明町四番地
暖流商會
電三田、〇五〇三番
小名濱町古港
代理店　三洋鐵工所
電小名濱　二四八番